

郷土の誇り 次への舞台へ



足跡

本名	谷地 仁 (35歳)
年寄名	二十山 仁
四股名	山形町荷軽部
出身	山形村立荷軽部小学校
学歴	山形村立山形中学校 県立浄法寺高等学校 明治大学
入門	平成7年3月場所
新十両	平成11年1月場所
新入幕	平成12年5月場所
引退	平成20年1月場所
最高位	東小結 (平成12年11月場所)
戦歴	449勝439敗32休 (78場所)
在位数	幕内24場所 十両24場所
優勝	十両優勝1回 (平成12年3月場所) 序ノ口優勝1回 (平成7年5月場所)
三賞	技能賞2回 (平成12年5月場所) (平成12年9月場所) 敢闘賞2回 (平成12年5月場所) (平成17年11月場所)

郷土の誇り「花乃花」。
わたしたちに勇気を与え、
元気を注いでくれた花乃花
が大きな節目を迎えました。
1月31日、両国国技館で行
われた断髮式・年寄「二十
山」の襲名披露。市内から
も多くの人が会場を訪れ、
その勇姿を見届けました。
夢の舞台は第二幕。今後は
二十山親方として新たな歩
みを進めます。

逆境から出発した大相撲

「花乃花。久慈市山形町出身。春日野部屋」。わたしたちが心待ちにし、心を高ぶらせた場内アナウンス。このアナウンスを最後に聞いたのは昨年1月24日。度重なるけがにも負けず、闘い抜いた郷土の誇りが土俵を下りる決断をした日でした。

山形町荷軽部で生まれ育った花乃花（本名「谷地仁」）は浄法寺高校から本格的に相撲を始め、名門明治大学に進学。大学卒業後、大相撲へと歩みを進めました。

しかし花乃花は、けがの影響から実績が足りず学生相撲出身力士に与えられる幕下付け出しの資格は得られませんでした。素人や中学校を卒業したての力士と共に出発は前

相撲から。逆境の中で初土俵でしたが努力に努力を重ね平成12年3月場所で見事、十両優勝。翌5月場所ついに新入幕を果たしました。前相撲から初土俵を踏んだ学生相撲出身力士の入幕は初めてのことでした。

し徐々に色濃くなるけがの影響。ひざの痛みは増し、腰痛も思い平成16年には幕下まで陥落してしまいました。それでも花乃花は諦めず、徐々に番付を上げ平成17年に再入幕。その再起の場所でも敢闘賞を受賞し多くの人に勇氣

「ありがとう」を花乃花に
1月31日、ついに慣れ親しんだ大銀杏に別れを告げる日がやってきました。会場の両国国技館には多くの市民も来場。何千人もの視線が集まる中、同部屋の柄栄と席を並べ

苦しくとも辛くとも 挑み続けた土俵人生 次に歩むは育てる道



土俵上で光と声援を受け関取の花道を飾った花乃花（左）。右は共に断髮した柄栄

栄光、挫折そして復活
入幕後、全国に見せつけた快進撃。初めての挑戦で大関2人を破るなど三賞も獲得し、一気に生涯最高位の小結まで駆け上がりました。しか

と感動を与えました。その後も最後の土俵を下りるまで常に真つ向勝負。どん底を味わいながらも強い精神力と努力で復活を遂げた花乃花は身を持って「やればでき

て断髮式が始まりました。神妙な面持ちで約300人の花乃花を受け入れる花乃花の会場からは「花乃花」と叫びにも似た大きな歓声が何度も飛び交いました。徐々に形を崩す大銀杏。逆に花乃花の唇

はすべてを懸けた土俵への思いをかみ締めるように固く結びあがりました。式が進み、いよいよ断髮は親族の番。双子の弟の譲さんに続き、大銀杏にはさみを入れた父の忠一さんは、そっと息子の肩に手を添えました。「ありがとう」と声を掛ける代わりに。最後は師匠の春日野親方が止めばさみ。花乃花は最後まで前を見据え、大銀杏に別れを告げました。忠一さんは「最後まで大勢の人が応援してくれたのは頑張ってきた証し。挫折を乗り越えた経験を生かして良い指導者になってほしい」とねぎらいつつ語りました。

声援 寄せられた感謝と激励

山形町同郷会会長 小向鉄男さん(埼玉県)
最初のころから応援してきました。岩手、山形町のみならず全国に感動を与えてくれたと思います。本当にありがたい。同郷の仲間たちも心から感謝しています。

大銀杏にはさみを入れた 遠藤勝さん(二十八日町)
親方の浴衣で仕立てたシャツを着て、思いを込めて大銀杏にはさみを入れました。多くの方が彼から頑張る力をもらったと思います。どん底を経験してきた彼ならいい弟子を育ててくれるでしょう。

山形中での担任 佐藤文幸さん(水沢市)
山形中でのことは今も思い出深い。仁くんは一見おっとりしていますが見極める力と強い気持ちを持った人。わたしにとってもヒーローです。今の学校の生徒にも彼の生きざまを教えています。

荷軽部の「母」 谷地ユリ子さん、谷地ユワノさん、新田キノさん
小さいころから一緒に泣いたり笑ったりしてきました。仁くんは人柄も良く、本当の子どものような存在。今までたくさん楽しませてもらった。でもこれから勝負。親方としても頑張してほしい。

荷軽部の「友」 谷地 勇さん
親方は格好いい兄ちゃんであこがれの存在。山形の名を広めてくれて誇りに思う。今後は親方としていい関取を育ててほしい。親方、たまには山形に帰ってきて、いつものように、みんなで集まり語らおう。

抱負 二十山親方からふるさとへ

今日で一つの区切りがつかしました。長い間、応援していただいたことが支えとなり頑張ることができました。ありがとうございました。これからは親方として良い力士を育てられるよう取り組んでいきます。久慈にも良い子がいれば紹介いただきたい。今後とも長い目で見守っていただければと思います。